

●危険物安全週間が始まります。

平成30年6月3日（日）から6月9日（土）まで、全国一斉に危険物安全週間が展開されます。

次のことに注意して、無事故を目指しましょう。

- **ホームタンクからポリ容器等に小分け中**は、絶対にその場を離れない。



- **配管等の劣化**による流出事故を防ぐため、定期的に点検し、劣化したものは適正に交換する。

- **セルフスタンド**では、次のことを守り安全に給油をしましょう。

①エンジンOFF！

・必ずエンジンを停止し、給油は一人で行い、子供が近づかないように注意する。

②給油前には！

・注意事項をよく読み、操作手順に従って自分の車に適した燃料を選択する。

③静電気除去シートにタッチ！

・計量機にある静電気除去シートに触れて、体の静電気を取り除く。

④給油スタート！

・給油キャップを開けた後、給油ノズルを必ず奥まで差し込み、給油ノズルのレバーをしっかりと引いて給油をスタートする。

⑤給油終了！

・給油ノズルには、給油を自動的に止めるオートストッパー機能が備えられているので、絶対に注ぎ足し給油をしない。



車いすテニス日本代表
上地結衣選手

● ホームタンクの事故事例

一般住宅のホームタンクから灯油を小分け中、その場を離れたため周囲の土壌に流出した事故

● セルフスタンドの事故事例

利用者が自家用車にガソリンを給油中、オートストッパー機能が作動した後も継ぎ足し給油をしたため、給油口からガソリンが漏れ出した事故



水害や土砂災害から自らの命、家族の命を守るために！

〈適時適切な避難を行うために、家族や地域で確認しましょう。〉

ステップ① 自宅や学校・職場には、どのような危険があるのか確認しましょう。

市が作成しているハザードマップを見て、河川が氾濫した場合には何m浸水してしまうのか、土砂災害が起こりやすい場所ではないか等、自宅や学校・職場等のよく立ち入る場所には、どのような危険があるのか確認しましょう。



ステップ② 避難情報について確認しましょう。

避難情報には、以下のものがあります。

避難準備・ 高齢者等避難開始

- いつでも避難ができるよう準備をしましょう。身の危険を感じる人は、避難を開始しましょう。
- 避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難を開始しましょう。

避難勧告

- 避難場所へ避難をしましょう。
- 地下空間にいる人は、速やかに安全な場所に避難をしましょう。

避難指示 (緊急)

- まだ避難していない場合は、直ちにその場から避難をしましょう。
- 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

ステップ③ もしもの時に備えて考えておきましょう。

例えば、以下のような状況も考えられることから、緊急的な対応について、事前に考えておきましょう。

例1：大雨等により、避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くのより安全と思われる建物（最上階が浸水しない建物、川沿いでない建物等）に移動しましょう。

例2：外出すら危険と思われる場合は、建物内のより安全と思われる部屋（上層階の部屋、山からできるだけ離れた部屋）に移動しましょう。

●盛岡市内の1月から4月までの火災件数

	平成30年	平成29年	比較増減
火災件数	13件	16件	3件減
死者数	2人	1人	1人増

●平成30年4月中の火災4件の内訳

- 4月16日 中太田 住家1棟部分焼
- 4月26日 下飯岡 非住家1棟全焼、非住家2棟焼損
- 4月29日 大ヶ生 非住家1棟ぼや
- 4月30日 中太田 住家1棟ぼや